



日本小児病理研究会 会報53号

平成22年3月8日(月)

1. ごあいさつ

総務幹事 横山繁昭(北海道立子ども総合医療・療育センター)

猛暑の夏の時、その冬は大雪と昔から決まっておりましたが、この冬は各地で記録破りの雪のニュースが聞かれました。ここ札幌の雪は例年以下で除雪の回数も少なかったのですが3月第一週に吹雪の大雪で帳尻を合わされました。辛い除雪の後、代わりに発想を変えて、良い雪でのスキーを楽しんできました。

今年の第100回日本病理学会における日本小児病理研究会主催のコンパニオンミーティングは、開催が最終日翌日となること、会場が東京都内に移動することなど諸事情を考慮して、残念ながら見送ることが総会で了承されました。会員の皆様よりお知り合いの先生にもお伝え頂ければ幸いです。

さて、今年の第31回日本小児病理研究会は埼玉県立小児総合医療センターの岸本宏志会長のもと、横浜で開催されます。とくに今年は横浜駅の近くということでも沢山の参加が期待できるので今から楽しみです。会員の皆様におかれましては、積極的に演題のご応募とご参加をお願いすると共に、若い先生へのご勧誘、とくに大人の病理をやっている先生のご勧誘もよろしくお願い申し上げます。

最近、気がついたことですが、小児病理の代表的教科書のStocker & Dehnerの「Pediatric Pathology」が昨年末に改定になったので早速みましたが、内容は新しく全部カラー写真になってよかったです。なぜかしら2冊から1冊になって200ページ以上も少なくなりました。Potterの教科書の改訂の時は2冊になりカラー写真も多くなっていたのですが……。なんでなんでだろう？。

最近、事務局の松岡幹事のご尽力で研究会のホームページがリニューアルされました、載せて欲しい記事やアイデアがあれば私か、松岡先生に是非ご連絡下さい。前の会報にも書きましたが、小林先生の記念講演の内容を日本小児病理研究会の歴史として載せるスペースを作って頂きたいと思います。

なお、「第32回日本小児病理研究会」は大阪府立母子総合医療センターの中山雅弘先生が主宰されることが決まっております。よろしくお願い致します。

2. 第31回小児病理研究会ならびに小児病理セミナーのお知らせ(第一報)

岸本宏志(埼玉県立小児総合医療センター)

第31回小児病理研究会

開催日:2011年9月3日(土)

場所:神奈川歯科大学横浜研修センター 大会議室

主題:小児消化器疾患(炎症性腸疾患を中心に)

特別講演:岡安 勳先生(北里大学医学部病理学 教授)

教育講演:横山 薫先生(北里大学東病院 消化器内科)

第8回小児病理セミナー

テーマ:先天性肺疾患

講師:

林 聡先生(国立成育医療研究センター 胎児診断科)

岡 輝明先生(公立学校共済組合関東中央病院 臨床検査科・病理科)

河端美則先生(埼玉県立循環器呼吸器病センター 病理診断科)

3. 小児腫瘍セミナー報告(第2回、第3回)

中澤温子(国立成育医療研究センター病理診断部)

第2回小児腫瘍セミナー報告

平成22年8月7日～8日に国際文化会館にて第2回小児腫瘍セミナー(成育医療研究開発事業)が開催されました。「神経芽腫群腫瘍」をテーマとしたワークショップ形式で、40症例を各自検鏡した後、秦順一先生(常磐大学人間科学部)、中澤温子先生(国立成育医療研究センター病理診断部)によるINPC分類についての解説を中心とした講義、40症例のgroup review、質疑応答が行われました。



【秦先生(中央)とともに鏡頭】



【各自鏡頭中】

第3回小児腫瘍セミナー報告

平成23年2月5日(土)13:00～16:00に国立成育医療研究センターセミナールームにて第3回小児腫瘍セミナー(日本病理学会小児腫瘍組織分類委員会・成育医療研究開発事業共催)が開催されました。肝腫瘍、腎腫瘍、横紋筋肉腫、神経芽腫、リンパ腫の小児腫瘍臨床研究グループにおける病理中央診断報告の後、宮寄治先生(国立成育医療研究センター放射線診療部)による教育講演「小児Tumor boardの画像診断:腫瘍発見から治療終了まで」が行われました。神経芽腫の新しいINRG病期分類で使用するimage defined risk factor(IDRF)、新RECIST分類などの最新の情報も盛り込まれた、実践的な楽しい講演でした。小児科医、小児外科医も含め50名の参加者による熱心な質疑応答が行われました。

4. 地区集会のお知らせ

第65回関西小児病理研究会

於;大阪市立総合医療センター 大会議室

世話人;

大阪市立総合医療センター井上 健先生

日程;未定(2011年7月もしくは8月)

詳細は会報54号にてお知らせします。

第120回 関東東海地区小児病理カンファレンス

2011年6月3日(金)午後5時30分から

於;国立成育医療研究センター

世話人;

国立成育医療研究センター 中澤温子先生

5. 事務局より

◇ホームページを移転、リニューアルしました。URLは<http://jspp.info/> です◇
本年度は2年に1度の幹事選挙の年です6月の会報発送時に投票用紙も併せて送付いたします◇会員数の減少に歯止めがききません◇会の存続のため若手病理医のみならず、小児病理に興味のある臨床医のリクルートをおねがいます◇
地区集会を利用して研究会の存在をアピールすることもいいと考えられます◇
会報は年3回(冬、春、秋)発行、会員全員に送付し、ホームページにも掲載しています◇
会報、ホームページを通じて、会員相互の情報交換、連絡を行いたい方はE-mailまたはFAXにて事務局までご連絡ください◇
関連研究会についても投稿お待ちしております

日本小児病理研究会会報53号
平成23年3月7日発行
編集・発行 松岡健太郎
日本小児病理研究会事務局
<http://jspp.info/>
〒157-8535
東京都世田谷区大蔵2-10-1
国立成育医療研究センター
病理診断部病理診断科
TEL (03)3416-0181
FAX (03)5727-2879
E-mail matsuoka-k@ncchd.go.jp